

支える、支え合う

所沢市立向陽中学校

三年 広上 遥香

税金は何に使われているのだろうか？ふと疑問が込み上げてきた。私が直接払っているのは消費税だけだが、家庭で見たら多くの種類の税金を払っている。今年度から私の市では給食が無償化された。もともと給食は食材費だけを私たちが払い、人件費などは税金でまかなわれている。つまり、無償化に当たって多くの税金が使われているのだ。多くの税金が私たちのために使われていることを実感し感謝の念が込み上げてきた。

給食は素晴らしいサービスだ。栄養バランスが整っていて、夏は冷たいもの、冬は温かいものが提供される。好き嫌いや偏食を防ぐことができ、新しい味や料理に出会うことで視野が広がる。弁当を持参する必要がないため、荷物が軽くなり弁当を作る手間を省くこともできる。子供の健やかな成長を願っているからこそ、このようなサービスがあるのだと感じた。給食は明治22年山形県のお寺の中に建てられた私立忠愛小学校で、生活が苦しい家庭の子供に無償で昼食を用意したことが起源とされている。戦後に、食糧難のため児童の栄養状態が悪化したことで再開された。現在では「学校給食法」があり、食育や適切な栄養摂取による健康の保持増進を図るために学校給食が向上していったようだ。このようにしてできた給食を支えられているのは税金である。税金には子供たちが健康で豊かな生活をおく

れるようにする役割があると思った。また、物価高な現在でも給食は今まで通りに提供されている。そこには、献立を考えている栄養士さんの努力や、費用を補助してくれる自治体の支えがあると思う。そのようなこともあり無償化された給食へのありがたみを深く感じている。

税金は生活を支えている。何に使われているか分からないまま払っている税金だが、誰かのためになっていると考えたと、物を買うときに消費税も払うのも悪くはないと思う。今回、私の住む市で学校給食が無償化されたため、それに目が向いた。しかし、それだけでなく普段通っている学校でも校舎や体育館、教科書、机、いすなどさまざまなものが税金でまかなわれている。私たちの学校生活は多くの税金で支えられているのだ。それは言い換えると、多くの納税者たちが子供たちのために多くの税金を惜しむことなく使ってくれているということだ。私たちはそのことに感謝しそのお金を有効活用しなければならぬ。また将来は私たちが社会に貢献し、子供たちを支える立場になれるよう、充実した学校生活をおくっていききたいと思う。

ありがとう、これからもよろしく。